

技能講習テキスト

学生、若年層へのキャリアコンサルティング実践トレーニング

caricon.co

(株式会社リバース)



▶ 1、講習概要

(1) 講習

学生（若年層）へのキャリアコンサルティングを行う際、最近の学生の就職活動の中で、カウンセリングを成立させていくことがキャリアコンサルタントにとって重要となります。

当講習では、学生の就職活動のためのカウンセリングの実情と特性を理解し、事例検討を通して基本的な視点と面接応答力を習得し、学生（若年層）に必要な実践面接力をロールプレイングを通して研鑽します。

(2) 講習を通して習得する目標項目

- ①学生（若年層）へキャリアカウンセリングを実施する上での基礎知識の理解
- ②学生（若年層）へキャリアカウンセリングを実施する上での相談者の特性の理解とキャリアコンサルタントとしてのアプローチする視点の理解
- ③事例検討とロールプレイングでカウンセリングスキルの向上

(3)

講座を通して習得する、相談者への支援効果

- ①相談者の自己理解の支援
- ②相談者の仕事理解の支援
- ③相談者への情報提供



▶ 2、学生(若年層)へのカウンセリング基礎

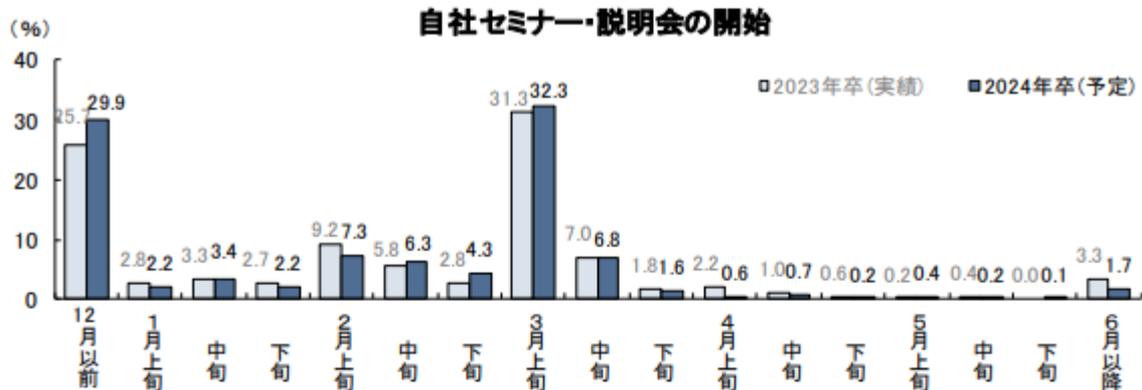
(1) 就職活動とは？

学生（大学生や専門学校生）が卒業してから社会人として企業に就職するための活動のことを言う。

(2) いつから就職活動開始する？

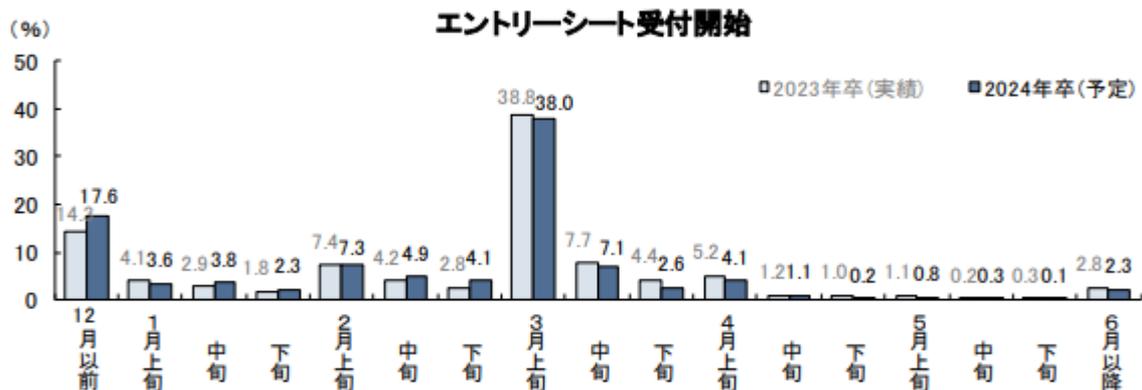
- ①大学生（4年制）なら3年生から
- ②短大や専門学校生（2年制）なら入学年次から就職活動の準備が開始されます





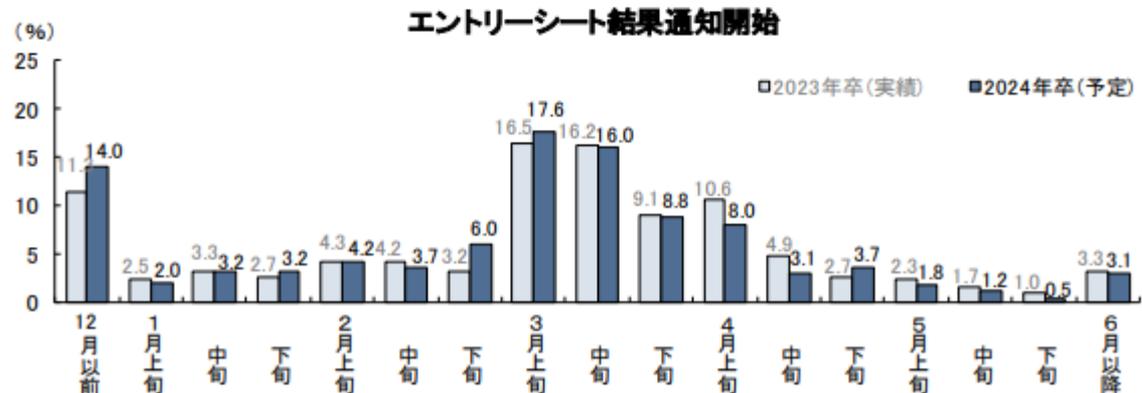
※2023年卒は、2022年7月調査

自社セミナー・説明会の開始は3月上旬が最多
(32.3%)



※2023年卒は、2022年7月調査

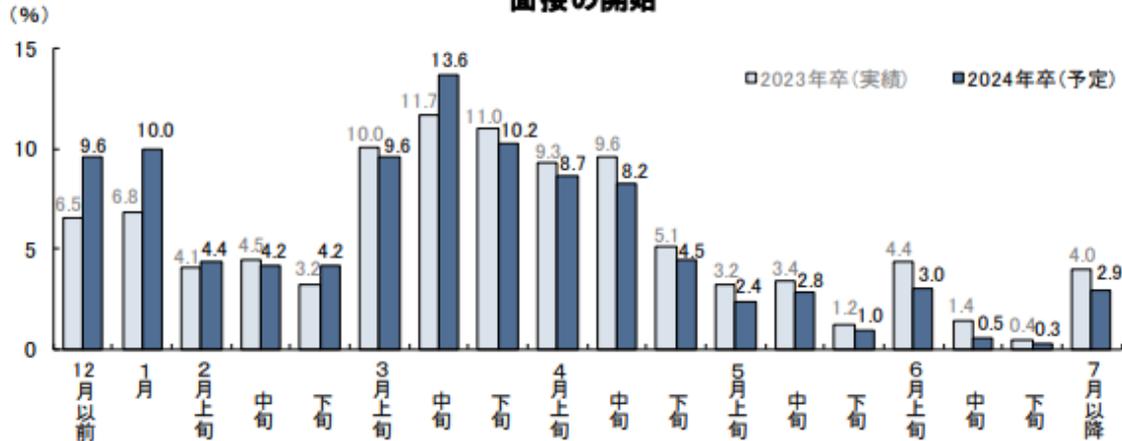
エントリーシート (ES) 受付開始も、最も多いのは3月上旬 (38.0%)



※2023年卒は、2022年7月調査

ESの結果通知開始は3月上旬～中旬が多く (17.6%、16.0%)、3月末までに結果通知を開始する企業は8割に迫る (計 78.7%)

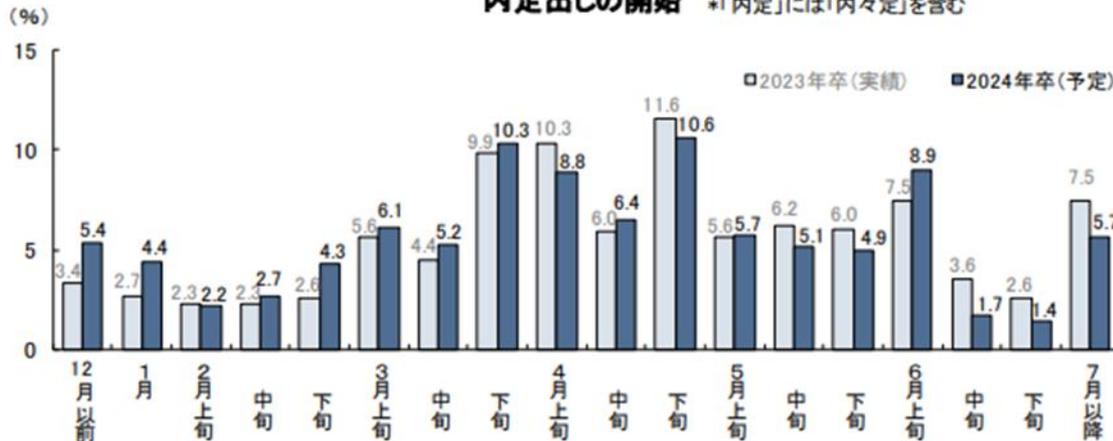
面接の開始



※2023年卒は、2022年7月調査

面接開始が最も多いのは
3月中旬（13.6%）
3月下旬（10.2%）が
続き、3割強の企業が
3月に開始すると回答
した（計 33.4%）

内定出しの開始 *「内定」には「内々定」を含む



※2023年卒は、2022年7月調査

内定出しの開始時期は
4月下旬が最多（10.6%）
僅差で3月下旬（10.3%）
4月下旬までの数値を
足し合わせると 66.4%。
6割以上が大型連休前に
内定を出し始める。



▶ 2、学生(若年層)へのカウンセリング基礎

(1) エントリーシート(ES)とは?

履歴書とは違い、企業側が用意した学生に対する履歴書+自己紹介のようなもの形式は企業により様々であり、写真を貼り付けたり、絵を描くなどいろいろなエントリーシートがある。

(2) マイナビとリクナビ

学生が就職活動を行う上で利用する就職サイト

マイナビ

リクナビより学生利用数が多く地方の企業が多い

リクナビ

マイナビより登録企業が多く主に都心部の企業が多い

この2つが大手のサイト

企業説明会へのエントリーは主にこちらより行う

(3) ハローワーク

毎年4月頃から新卒の求人情報が公開される

※変動あり



▶ 3、事例検討でロールプレイング

相談者：大学3年生（外国語学部）、1月に相談
学内のキャリアセンターのキャリアコンサルタントによる面接

事例検討 1

－インテーク（一番最初の設定）－

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

最初の設定での確認

- ①この相談者はどのような状況か
- ②相談者はカウンセリングを受けたくないかもしれない



▶ 3、事例検討でロールプレイング

事例検討 2

—相談者へのアプローチ—

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

相談者の属性に関して

- ①大学で学んだこと、健康状態
- ②就職活動環境
- ③経済的環境

相談者へのアプローチに関して

- ①人的環境
先輩、後輩、OBなどとの関係
- ②相談者のキャリアライフプラン
相談者が将来どうなりたいか



▶ 3、事例検討でロールプレイング

事例検討3

—相談者との関係構築—

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

基本的態度を常に意識する

①受容、共感等の基本的態度を持って相談者に接する

②傾聴スキルを基本とする

関係構築に力を入れる

①何でも話してもらえそうな関係を目指す

②傾聴スキルを用いて2：8くらいの割合で相談者が話しやすい環境作りをする

【良い例】

相談者の言った言葉を繰り返し、的確に返す。相談者がどんな人なのか？気にする。

【悪い例】

学生だからといって指導や提案ばかり行う。

あまり相談者の話を聴かない



▶ 3、事例検討でロールプレイング

事例検討4

—問題把握—

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

相談者が訴える問題点

- ①相談者が話したことだけではなく、話したかったこと

キャリアコンを感じる問題点

- ①キャリアコンから見た新しい視点を見つける
- ②相談者に①に気付いてもらうことにより自己理解に変化を促す



▶ 3、事例検討でロールプレイング

事例検討5

ー目標設定ー

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

目標設定とは？

- ①相談者とキャリアコンは一緒にお互いに同じ目標設定を共有すること
- ②まずはスモールステップの設定

目標設定をするために

- ①良い関係構築ができている
- ②目標設定の共有を行った際に相談者からの「はい」という明確な応答があること



▶ 3、事例検討でロールプレイング

事例検討6

—方策の実行（サポート）—

大学2年の8月から1年間留学した経験を通じて、卒業後は海外で就職したいと考えて母に相談したが猛反対される。親も反対しているから日本で就職しようかとインターンシップに参加してみたが職場の雰囲気や仕事が合わないと感じ、海外で働きたいと再度思うようになってきた。今後の就職活動について相談したい。

方策とは？

①目標をどうやって達成するか手段等のこと

方策の設定をするために

①情報、スキル、就職活動等についての方策

②方策の共有が行えていること

③相談者の意思決定を確認すること



▶ 4、相談ケース3つ

- 1、【意思決定】で迷っている
- 2、【現在の問題】で困っている
- 3、【気持ちの整理】がつかず前に進めないでいる

※いずれかに当てはまる場合が多い。

<具体的な展開の方法>

1、【意思決定】で迷っている

意思決定とは2つのどちらに決定するのか？ Aか？ Bか？で迷っているということになり、この場合はその両方について詳しく聴いていく必要がある。

2、【現在の問題】で困っている

この場合は選択肢がなく「上司と合わない」「仕事がつらい」などがそれにあたる。「現在の問題」を詳しく客観的に細かく聴いていく必要がある。

3、【気持ちの整理】がつかず前に進めないでいる

気持ちの葛藤や「わかってはいるが・・・」
という自身の気持ちの迷いやイラショナルビリーフ等がある状態。
主に感情に焦点をあて気持ちの整理のサポートを行う必要がある。



▶ 5、その他の事例

1、【意思決定】で迷っている

◆20歳女性、私立大学3年生（文学部） 父 公務員、母 高校教諭 妹 中学3年生
相談時期12月

そろそろ就職を考えないといけないが、自分がどういう仕事に向いていて就活をどのように進めていけばよいかかわからない。結婚はしたいと思っているが具体的にやりたい仕事は思いつかない。学習塾で個別に子どもへ勉強を教えるアルバイトをしている。楽しいと思うが、母が教員をやっていて帰宅が遅く自分が小さい頃はさみしかったので先生という職業にあまり良いイメージがない。でも就職はしないといけないと思っている、できるだけ長く働きたいと思っている。



▶ 5、その他の事例

2、【現在の問題】で困っている

◆24歳男性、4年制大学卒業後、I T企業に勤務、家族と同居、本人の希望で来談
相談時期 6月頃

この会社を選んだのはS Eになりたくて入社したが、約3か月間の新人研修後に配属されたのは営業部。大学の先輩でS E職について楽しそうに仕事をしている人がいる。その影響もあった。今、営業で2年目だがS E職への憧れがまだ強くある。最初からS E職の人とは差が出てきており焦っている。もう転職するしかないかと考えている。



▶ 5、その他の事例

3、【気持ちの整理】がつかず前に進めないでいる

◆21歳男性、大学生（理学部数学科3年生） 父 公務員 母 専業主婦
相談時期 12月

教師になるつもりで頑張ってきたが最近それでいいのかと思うようになってきた。採用試験がとても狭き門で1回の受験で採用されるとは限らない。結局教師にならなかったという人の話をとてもたくさん知っている。それなら最初から一般企業への就職にした方がいいのかなとも思う。自分は確かに人に教えるのは上手いと思うが、教師となるとまた大変であり自信もない。だったら数学を活かせる仕事に就いた方がいいのかな。なんかいろいろ考えるとどうしていいかわからなくなってきた。

